

淡路宗務支所報 「海響」

[第21号]

令和3年(2021)3月15日

題字・弘法大師筆



発行所 高野山真言宗淡路宗務支所
発行人 支所長 鈴木 暲 導
兵庫県洲本市五色町都志1344
多聞寺中 TEL0799(33)0736

海響

お大師さまのことば
香を執れば
自ら馥し
衣を洗えば
脚清し
(性霊集六)
香を手にすれば馥郁たる香りが身に薫じられる。蜀江で錦を洗えば自分の足まで綺麗になる。そのように、善は影響を受けて感化される。



『お香の功德』

お香は、奈良時代に仏教と共に大陸より伝わり、古来様々な文化と融合し日本独自の香りの文化を形成して行きます。

日本に古くから伝わる書物『日本書紀』によると、日本で最初の香の記録は、奈良時代の推古天皇三(五九五)年の事であります。

「淡路島に大きな良い香りのする木が漂着し、島民が薪としてその木を焼くと、辺り一面に香りが広がり、不思議に思った人々が朝廷にこの木を献上した」とする記述があり、お香は貴重な物であり上等の贈り物とされていた事が伺えます。

近年の研究によれば、お香には虫除けや殺菌効果があり、リラックスマ効果をもたらす脳の記憶の部分を刺激し活性化させる効果があるとわかっています。田植え前の蓮花草の香りを嗅ぐと、子供の頃に田んぼを走り回った思い出が脳裏にうかぶように、仏檀やお墓でお線香をたきますと、父母の笑顔や声が聞こえるように思うのも香り作用かも知れません。真言宗では、焼香やお線香を先祖諸霊への最上の供物の一つとして日々の読経時や法事に常にお供えています。

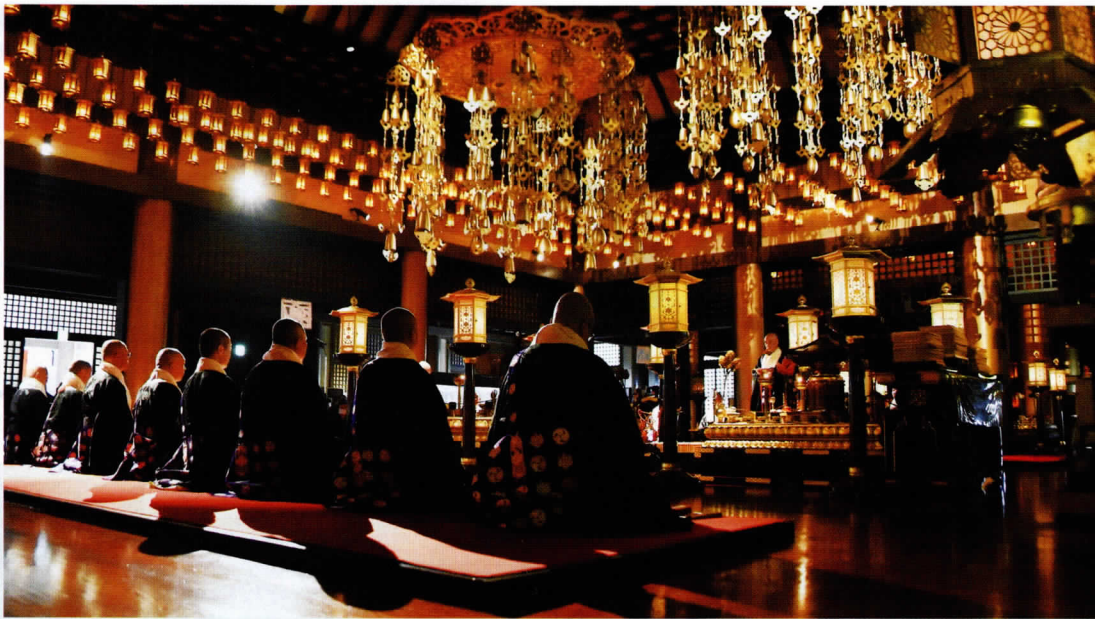
それには、仏様に良い香りの徳を届けて自身の修行円満を祈り、他の人にもこの香りの徳が行き渡るように精進する。つまり、自身だけでなく他人の幸せも願うとの意味が込められており、これをお香の功德と言います。

皆様も忙しい日常生活の中で、ストレス発散や心の癒しを求める時には、お線香をたいて静かに座ってみてはいかがでしょうか。

合掌

松榮寺 笹津寛照

大師号下賜二〇〇〇年記念法会



令和二年は、空海上人が「弘法」の大師号を醍醐天皇から下賜された延喜二十一年(九二二)から数えて一〇〇年であり、高野山において大師号下賜一〇〇年記念法会が十月十七日から二十七日までの十一日間奉修されました。

中には山内住職や全国の地域伝道団役員らが出席して法会や写経奉納式が執り行われました。

記念法会に合わせて実施された御宝号念誦御写経は、全国九つの地域伝道団から総数二万七千九百五十八巻が奉納されました。

第六地域伝道団(兵庫・播磨・但馬・淡路)は、十月二十四日奥の院燈籠



堂にて慶讃法会を奉修しました。コロナ禍ではありましたが土曜日ということもあり、御供所より燈籠堂への参道にはマスク姿の大勢の参拝者が手を合わせて下さっていました。

法会后、第六地域伝道団より六千四百三十三巻(淡路支所三千二百六十八巻)の御宝号念誦御写経を奉納いたしました。

その場で添田隆昭執行長から、「我々、弘法大師さまの末徒たる者は、子々孫々、未来永劫に弘法大師信仰を伝えていく事が勤めである。他人のために祈ることが、自分の思っていたことの成就に

繋がるのなら、他人のために祈る人を大師は探しておられるのではないか。多くの人から頂いた御宝号念誦御写経の根幹もここに「ある」と参拝者に呼びかけられました。

第六地域伝道団団長藤田尚佑僧正は、「檀信徒に御宝号念誦御写経を行って頂き、お供えすることは簡単なようで難しく、コロナ禍の中で六千余巻も奉納できた事は大変

ありがたい。弘法大師の威光が益々輝き、我々にその光が差すことを願う。また、我々の思いが弘法大師に届き、関わる全ての人々が安心できる事を祈っている。」と申されていきました。

本来でしたら、支所挙げて団参し御廟前にてお慶びを申し上げたかったところですが、皆さまの思いを写経に込めてお納めすることができました。

なお、本山へ納められた写経奉納料は社会福祉活動等に運用されています。地域の寺院を中心とする宗内外の福祉活動に助成しております。

ありがたい。弘法大師の威光が益々輝き、我々にその光が差すことを願う。また、我々の思いが弘法大師に届き、関わる全ての人々が安心できる事を祈っている。」と申されていきました。

高野山真言宗金剛講淡路地方本部・教師会

ご詠歌 四季の集い

春の集い	4月17日(土) 午後7時~9時
場所/ 延長寺	洲本市五色町 賀集寺 三富良圓
夏の集い	7月17日(土) 午後7時~9時
場所/ 護國寺	南あわじ市 衛命寺 本間敬英
秋の集い	10月17日(日) 午後7時~9時
場所/ 八浄寺	淡路市 木稲井良俊
冬の集い	1月17日(月) 午後7時~9時
場所/ 延命寺	南あわじ市 江井本多隼大

(敬称略)

巡回布教日程

四月二十三日(金)	一教区	法導寺
四月二十四日(土)	六教区	極樂寺
四月二十五日(日)	五教区	福満寺
四月二十六日(月)	三教区	八浄寺
四月二十七日(火)	八教区	萬福寺
四月二十八日(水)	五教区	本福寺
四月二十九日(木)	四教区	小川寺
四月三十日(金)	七教区	覚住寺

本山の布教師さまが、島内各寺院を回られ、管長さまの御言葉とお授け、布教をしてくださいます。

コロナ禍により、開催・内容については檀那寺にお伺いください。

「高野山の法話」

高野山の僧侶の法話を、パソコンやスマートフォンで気軽にご覧になれる「高野山の法話」が視聴できます。

配信時間は約10分。毎月1日、15日の隔週で新しい法話がアップされています。

真言法話の集い

令和3年度 生かせいのち公開講座

時間 午後一時三十分より
会場 洲本市文化体育館

- 四月二十一日(水)《第三三〇回》—2階会議室
「一字に宿る仏さま」 長谷寺 長谷川惇也
- 五月十九日(水)《第三四〇回》—2階会議室
「諸行無常」 志筑 八幡寺 野崎康弘
- 六月十六日(水)《第三五〇回》—2階会議室
「生きる力」 浦 法導寺 竹原祐乘
- 七月二十一日(水)《第三六〇回》—1階会議室
「同行二人」 下堺 三寶院 樹下真快
- 七月二十一日(水)《第三六〇回》—1階会議室
「み仏の聲(ミホトケのユエ)」 中川原 大照寺 本間克佑
- 九月二十二日(水)《第三七〇回》—2階会議室
「山に登りて」 福良 慈眼寺 南岳真行
- 十月十三日(水)《第三八〇回》—1階会議室
「カラカラのスポンジ」 賀集 護國寺 三富良圓
- 十月十三日(水)《第三八〇回》—1階会議室
「まわり弁天を迎えて」 佐野 八浄寺 岩坪泰圓
- 十一月十七日(水)《第三九〇回》—1階会議室
「ひととは、なぜ拝むのか?」 尾崎 長泉寺 竹本仰雲
- 十一月十七日(水)《第三九〇回》—1階会議室
「報恩、恩を返していきたいと思います」 北阿万 薬王寺 堀部泰博
- 十一月十七日(水)《第三九〇回》—1階会議室
「仏教への招待」 先山 千光寺 岡本宣照

※「真言法話の集い」にご参加の際、1階会議室または2階会議室ご確認の上お入りください。

「まわり弁天さん」八淨寺へ安座

まわり弁天さん(淡路巡遷妙音弁天) 奉迎希望寺院なき場合は十月七日の秋季祭にて、御託宣の儀を執り行い次期安座教区を決定します。

昨年度はこの制度の導入元年で、第五教区が御託宣を受け勝樂寺に安座されました。

十二月七日の奉迎祭までひと月余という短期間で準備にもかかわらず、森大誠住職はじめ役員様地域の皆様のご尽力により無事に安座奉迎、一〇〇年に一度のウイルスに襲われるも行事を重ねるごとに、寺院と檀家様、地域の皆様との結束が深

まっぴい様子を目の当たりにし、心から嬉しく、また改めて信仰の力、まわり弁天さんのご利益を感じられた一年でした。そして今年度は第三教区が御託宣を受け、まわり弁天さんの故郷である佐野八淨寺に安座されました。八淨寺がまわり弁

天さんをお迎えされるのは七年ぶり。日々、岩坪泰圓住職が皆様の安寧を願ってお勤め頂いており、例年通り四月十八日春季祭では柴燈護摩が修されます。どうか皆様も護摩木に願いを込めてお力添えのほどよろしくお願い致します。 合掌



遷座中 (12月6日)



御託宣の儀 (10月7日)

八淨寺では、妙音弁天を授かってこられた城喜代(城光宗清信士)と、尊天軸を授与せられた城喜代の伯父である高野山青巖寺 旭昌法印大和尚(権大僧都法印旭昌上人)のお位牌が祀られています。



奉迎祭 (12月7日)

淡路寺院ご紹介

曼荼羅華の里

お寺では、「〇〇山〇〇寺」という名前を持つものが多くあります。いわゆる「山号」です。もともとは、七くたつた人の魂がのぼってゆく場所、俗世から隔絶された信仰対象となっていた山々は、仏道の修行の場としてもふさわしい場所とされたのですが、次第に、山中だけでなく平地に建てられる寺院の名にも、仏道の修行の場であるという意味をこめて「山号」が付けられるようになったそうです。

有名なところでは、高野山金剛峯寺、比叡山延暦寺、華頂山知恩院、瑞竜山南禅寺、音羽山清水寺、八幡山東寺、止山鹿苑寺(金閣寺)、東山慈照寺(銀閣寺)などです。寺院の門を「山門」(正式には「三門」と呼びます。また、その宗派の中で指導的な役割にある寺院を「本山(総本山)」と称することなどからも、仏教の中で「山」というものがやはり特別な意味を持っていることがわかりますね。

今回は、山号が同じ寺院をご紹介します。

医王山 圓滿寺

淡路市志筑一五四二一

【御本尊】 薬師如来

淡路四国霊場 第六十八番
淡路薬師霊場 第四十七番

【御詠歌】
大空に 円にすめる 月のごと
満ちたらひたる 心もとがな

開基の記録が残っていないようですが、志筑で一番古い寺とされています。忍頂寺喜左衛門が開基したとも言われています。記録としては享保五(一七二〇)年に修繕したとの銘が入った棟札が残されています。現在の本堂は平成十四年に建てられました。

御本尊・薬師如来像は秘仏です。いくつかの逸話があります。

- 海賊船が薬師如来から放たれる瑠璃光により停まってしまい、海賊が悔い改めると誓うと再び船が動いた。
- 御開帳すると船が難破する。『淡路四十九薬師と巡礼』
- 安座の御利益がある。『淡路通記』

医王山 福満寺

淡路市野島常盤四一三

【御本尊】 薬師如来

淡路四国霊場 第五十七番

【御詠歌】
祈りなば 常磐に福ぞ みつるてふ
仏の誓ひ 千代もかわらず

蓮社宗(れんじやしゅう)として江戸時代初期に創建されたそうです。かつて島内にいくつこの宗派の寺院があったそうです。

「蓮社」とは、東晋代の慧遠(えおん)・廬山に住んだ高僧。中国仏教界の中心的人物の一人が元興(元四〇二)年、廬山東林寺において僧俗二三人とともに結成した「白蓮社」にちなんで浄土念仏実践の団体をこう呼びます。宋代には天台宗の本如が創立した白蓮社をはじめ、何々社と称する多くの蓮社が成立しました。日本では後醍醐天皇の頃(一三〇〇年頃)聖光の弟子宗円が入宋して廬山に参詣し帰朝して自ら白蓮社と号しました。そして中世以降の浄土宗では能化者は〇蓮社という法号を用いるようになったそうです。

福満寺は江戸時代中期に真言宗に改宗しました。その時、蓮社宗の経典を近くのダムの際に埋められたとの記録があります。本堂横の地蔵菩薩は蓮社宗の時から祀られていたとか。



第六回 御詠歌・舞踊の発表会

九月二十八日、淡路市一宮ふるさとセンターを会場に第六回淡路島奉詠舞大会を開催いたしました。今大会はコロナ禍の影響のため来場者の検温・マスク着用など感染症対策を徹底し、御詠歌をお唱えする時にもフェイスシールドやマスク着用のご協力をいただきました。

登壇人数も限定された中で開催となりましたが、七十七名が登壇し、日々に進め鍛錬されてきた御詠歌・詠歌舞踊を御披露していただきました。登壇された方々には会場より温かい拍手が送られていました。

今回は西国三十三所お砂踏み道場の開催は中止となりましたが、来場者・登壇者とともに大勢のご参加をいただき、コロナ禍の早期終息の祈りの中、お互いの健康と御詠歌・舞踊を奉納できるとなりました。



華道高野山

生ける人の心が
花の表情です



お問い合わせ
淡路寺族婦人会
淡路市飯屋三(八一) 潮音寺内
TEL:0799(七四) 二二二二

淡路寺族婦人会

四月より淡路寺族婦人会の会長を仰せつかることになりました。浄土寺和田隆子と申します。

淡路寺族婦人は、現在七十六ヶ寺一五名の会員が自坊を守り住職を助け、華道高野山・御詠歌・御詠歌舞踊等明るく活発にボランティア精神で活動しております。

しかし、昨年から新型コロナウイルスで世界中が激変しました。人と人との接し方が一変し、困難の日々で終息の見通しがありません。諸行事も昨年からは自粛・自粛で淋しい思いをしておりますが、こんな時こそ心の平穩のためにお寺の役目が大切で、寺族婦人の出番

だと思っています。ワクチンに希望を持ち、マスク・手指の消毒を忘れずに一人一人が気をつけて、皆さまも「コロナに負けるな」で頑張りましょう。

嫌なときこそ『ありがとう』
『感謝します』
『未来の自分に』

普通は人に言う言葉ですが、自分に使うと魔法の言葉になります。私はこの言葉が大好きです。

副会長・明法寺 瀬 恵理子、同・松榮寺 笹津洋子共々、会員の皆様のご協力を仰いで任を努めさせて頂きますのでよろしく願います。

合掌

編集後記

昨年よりのコロナ禍で諸行事につきまして、ご迷惑をお掛けし申し訳なく思っております。

いよいよ日本でもワクチン接種が始まりそうですが、まだまだ従来通りの活動は難しいと思われまます。ご理解ご協力をお願い申し上げます。

支所報に感想やご意見、掲載のご希望などがございましたら、下記の事務取扱所や各種那寺まで。

参加会だより

例年、兵庫ブロック協議・参与・檀信徒大会には、県内各地より多くの参与会員が参加し講演が行われます。令和二年度内いたします。

参与会入会ご希望の方は、御縁の御寺院さまにお申し出ください。

会員になられますと高野山真言宗管長(参与会総裁)より委嘱状をお届けし、参与袈裟と参与バッジが授与されます。

《会員特典》

- ・高野山諸堂・霊宝館 内拝無料
- ・金剛峯寺参拝時 記念品贈呈
- ・月一回発行「月刊 高野山」が届きます。

【年会費】 一万円



は但馬支所担当でしたが、新型コロナウイルスの感染予防のため中止とさせていただきます。

御宝号念誦運動への浄財

本山総額(累計) 一、一五、二六五、〇七五円
淡路志納分(累計) 二七、三四二、二九〇円

御写経奉納巻数

本山総計(累計) 二、六四〇、一二二巻
淡路奉納分(累計) 五〇、九一八巻

御写経のすすめ

一日のひと時、御写経をしてみたいか、御写経を無心で御写経をする時間、養った「心の充実」を活かして、より良い明日を迎えましょう。



令和三年度 淡路宗務支所小史

- 令和三年度 淡路宗務支所小史 (敬称略)
- 洲本市五色町都志 一三四四 多聞寺中
- TEL:0799(三三)〇七三六
FAX:0799(三三)一四二九
- 淡路宗務支所 事務所
- 洲本市五色町都志 一三四四 多聞寺中
- TEL:0799(三三)〇六九三
FAX:0799(三三)一七〇〇

- 支所長 鈴木 瞭導
副長(庶務課) 三宅 一弘
副長(会計課) 富山 仁彦
副長(教務課) 佐竹 清志
副長(講社課) 湯口 悦規
副長(弁天総長) 湯口 悦規
副長(弁天庶務) 三富 良圓
副長(弁天会計) 和田 光永
- 自治布教団団長 笹津 寛照
副団長 堀部 俊晴
副団長 堀部 俊晴
副団長 堀部 俊晴
副団長 堀部 俊晴
副団長 堀部 俊晴
- 金剛講 副団長 堀部 俊晴
副団長 堀部 俊晴
副団長 堀部 俊晴
副団長 堀部 俊晴
副団長 堀部 俊晴
- 青年教師会会長 木野本快眞
寺族婦人会会長 南岳 謹子

- 檀信徒協議会理事
- 一教区 北浦 義久
二教区 寺西 一夫
三教区 坂本 敏男
四教区 山本 敏男
五教区 永田 秀一
六教区 岸本 敏彦
七教区 池添 忠義
八教区 梶井 盛男

- 参与会淡路選出評議員
- 一教区 清水 邦樹
二教区 寺西 一夫
三教区 森代 衣夫
四教区 橋詰 計介
五教区 山崎 恭人
六教区 池尻 明路
七教区 坂本 勝利
八教区 谷口 静雄
八教区 榎本 啓一
八教区 島田 貞洋

- 新任職
- 寺内 宥孝 (松帆 願海寺・兼) 令和二年 四月一日
阿形 国明 (鳥飼 善光寺・兼) 令和二年 九月廿二日
兼二兼務住職

高野山真言宗青年教師会	淡路宗務支所 事務所	高野山真言宗淡路宗務支所
理事 長尾 泰道	支所長 鈴木 瞭導	洲本市五色町都志 一三四四 多聞寺中
副理事 樹下 真快	副長(庶務課) 三宅 一弘	TEL:0799(三三)〇七三六
宗務員 岡本 宜照	副長(会計課) 富山 仁彦	FAX:0799(三三)一四二九
学頭 岡本 正信	副長(教務課) 佐竹 清志	淡路宗務支所 事務所
書記 岡崎 哲英	副長(講社課) 湯口 悦規	洲本市五色町都志 一三四四 多聞寺中
副書記 南岳 真行	副長(弁天総長) 湯口 悦規	TEL:0799(三三)〇六九三
議事録 南岳 真行	副長(弁天庶務) 三富 良圓	FAX:0799(三三)一七〇〇
議長 八教区 瀬尾 弘澄	副長(弁天会計) 和田 光永	自治布教団団長 笹津 寛照
副議長 三教区 竹本 仰雲	副長(自治布教団) 堀部 俊晴	副団長 堀部 俊晴
一教区 南岳 泉雲	副長(金剛講) 堀部 俊晴	副団長 堀部 俊晴
二教区 林 真康	副長(青年教師会) 木野本快眞	副団長 堀部 俊晴
三教区 山本 泰三	副長(寺族婦人会) 南岳 謹子	副団長 堀部 俊晴
四教区 坂本 正隆	副長(檀信徒協議会) 梶井 盛男	副団長 堀部 俊晴
五教区 林 清真	副長(参与会) 梶井 盛男	副団長 堀部 俊晴
六教区 坂本 敬英	副長(御写経) 梶井 盛男	副団長 堀部 俊晴
七教区 池添 敬英	副長(御詠歌) 梶井 盛男	副団長 堀部 俊晴
八教区 梶井 敬英	副長(御詠歌舞踊) 梶井 盛男	副団長 堀部 俊晴